

# 佐々木茂則氏 情報通信設備協会 理事長(協立情報通信 代表取締役) 中小企業のICT化に貢献する組織へ



この6月に協立情報通信・代表取締役の佐々木茂則氏が情報通信設備協会(ITCA)の新理事長に就任した。常に先進的な取り組みで成功を収めてきた佐々木理事長は「会員各社の変わろうとする意識こそが大切」と語る。

18年ぶりに情報通信設備協会(ITCA)の役職に就かれて(編集部注:佐々木理事長は1986年~90年の4年間、当時の関東地方支部長を務めた)、どのような感想をもたれましたか。  
佐々木 最盛期には1500もあった協会の会員数が、900程度に激減していることに驚きました。なぜここまで減ったのか、事務局に調査したのかと訊ねたら、していないということでした。そこで、まだ私案の段階ですが、会員が協会に期待するところとは何なのかなど、協会の委員会を通じて、アンケート形式による検証をしてもらいたいと考えています。

業界の環境もかなり変わりました。佐々木 85年の電気通信事業法により、競争原理が導入され、通信キャリアとの分界点からユーザー側のLANの部分は、原則自由とする利用者本位の革新性が発揮できるようになりました。それ以来、情報と通信は融合し、あらゆる業界において情報通信の利用は拡大し、新しい需要が創り出されています。  
業界の「異端児」といわれている佐々木社長が経営する協立情報通信は、移動通信機器の販売、PC-LAN事業への参入、マイクロソフト認定ソリューションプロバイダーの取得等々に先進的に取り組み、こと

ごとく成功を収めています。佐々木 私を業界の異端児のように評するのはおかしいと思います。私は電気通信事業法の主旨を理解・実行しているだけで、一番の正統派だと思っています。事業法の制定は、ビジネスが自由化されたことを意味し、それを私はまたとないチャンスと捉えて精力的に事業に取り組み、お陰でビジネスが拡大しました。

## 土俵は顧客側での貢献競争

今、通信系ディーラーは全体的にパワーが落ちています。そうしたなかで、数々の成功体験を引っ掛けて佐々木社長が理事長に就任された。周囲の期待は大きいと思います。佐々木 協会内に私に指導してもらいたいという雰囲気があるとするなら、それは違います。大切なのは、会員の皆さんがどういう意識を持つかです。変わろうとする気持ちがなければ、私がいくら話をしても意味はありません。今やNGNの時代です。この状況下で、変わろうとする気持ちがあれば、業界は何倍にも成長する可能性があると思います。  
変わるためには何が必要ですか。佐々木 会員の皆さんはこれまで、通信キャリアのほうに意識が向いているように思います。例えば、回線を安くするとか、それを繋ぐとどうなるかということは、あくまでサービスの1つであり、本質ではありません。わ

れわれの仕事は、ICTを通じて顧客にいかに関与するかということで、土俵は顧客側での貢献競争だと思います。そこそが電気通信事業法の狙いではないでしょうか。

貢献とは、何を指すのですか。佐々木 3つあります。まずハード端末を含めたネットワークインフラ、2つめが業務ソフトウェアやコンテンツ、そして3つめが顧客の情報活用スキル支援、つまり情報から価値を作る能力を顧客に付けることです。  
2001年のIT基本法の制定を機に、ICTの導入が進んでいます。しかし、協会のメイン顧客である中堅・中小企業では遅れているのが現状です。中小企業の活性化を図るにはICTの活用が必須です。そこで、当

協会が全国の中堅・中小企業のICT化支援に貢献する中軸的な組織になれるように取り組んでいきたいと思っています。  
技術者資格においても、工事担当者資格は通信の領域からLANの領域へと広がり、情報通信エンジニアの制度も始まっています。そこで、エンジニアをはじめとする人材を養成するとともに、サービスを展開する会員各社のブランド化が必要であると考えています。  
会員各社は情報通信設備の構築と保守業務において強みを持っています。それに情報から価値を創出するさまざまなサービス業務を加えれば、より一層、顧客のICT活用に貢献する、充実した素晴らしい情報通信

サービス業になると思います。その実現のためのキーワードは「コラボレーション」です。キャリアやハード・ソフトウェアメーカー等と一緒に取り組むことで、サービスが広がります。また、能力があれば、ますますコラボレーションによる効果が広がります。私でもできたことですので、しっかりと意識さえあれば、誰もができます。  
新理事長の方針はいつ出しますか。佐々木 年末までにまとめ、来年の年初に発表する予定です。私の考え方は述べた通りですが、まだヒアリングを開始したばかりであり、現状の把握をしているところです。理事の方々との整合を踏まえ、ロマンのある業界となるよう協会としての役割を推進しようと考えています。

# LAN配線工事

## 簡単LAN延長

●接続構成例

映像サーバ/DVR IP-PBX    xDSLモデム    xDSLモデム    ネットワークカメラ    IP電話端末

工場やキャンパスなどのネットワークカメラやIP電話のデータ転送に最適

数km

### xDSLモデムは電話線や同軸ケーブルを使用し、既存の設備を生かして簡単にLAN延長が可能です。

- アナログカメラからネットワークカメラへの置き換えを検討している
- 既存のビジネスフォンからIP電話システムへの置き換えを検討している
- 接続機器はIPアドレスなどで一元管理したい

他にも・・・

- 離れた場所でもサーバのデータを共有したい
- 別棟でも契約回線を増やさずインターネットに接続したい
- 建物間のLAN間通信を行いたい

<p>短距離VDSLモデム</p> <p><b>NVF-200LS/R</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 双方向最大25Mbps</li> <li>● 電話回線と重畳可能</li> <li>● 繋ぐだけで使用可能</li> <li>● 電話線で最長1.9kmまで</li> </ul>	<p>短距離高速VDSL2モデム</p> <p><b>NV-600LM/RM</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 双方向最大100Mbps</li> <li>● 電話回線と重畳可能</li> <li>● 簡単な設定で使用可能</li> <li>● 電話線で最長1.3kmまで</li> </ul>	<p>長距離SHDSLモデム</p> <p><b>H301A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 双方向最大5.7Mbps</li> <li>● ノイズに強く安定通信</li> <li>● 簡単な設定で使用可能</li> <li>● 電話線で最長6.7kmまで</li> </ul>	<p>同軸ケーブルVDSLモデム</p> <p><b>B101</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 下り最大100Mbps/上り最大60Mbps</li> <li>● 簡単な設定で使用可能</li> <li>● 同軸ケーブルで最長2kmまで</li> </ul>
--	---	--	--

ハイテックインター株式会社  
HYTEC INTER Co., Ltd.  
TEL:03-3863-5221  
FAX:03-3863-5388  
<http://www.hytec.co.jp>  
info@hytec.co.jp

簡単LAN延長    検索    機器の貸し出しも承っております。お気軽に弊社までご連絡ください。